

心理劇

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

第5巻 第1号 / 平成12年12月1日 Vol. 5, No. 1, December 2000

特集〈心理劇のはじめ方・おわり方〉

- | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|
| I | ロール・プレイングのはじめ方・おわり方 | 川 幡 政 道 | 1 |
| II | 日常生活に開かれた心理劇 | 黒 田 淑 子 | 9 |
| III | モレノ派サイコドラマの立場から | 磯 田 雄 二 郎 | 15 |
| IV | 実践における手続きの広がりについて | 古 川 卓 | 20 |

原 著

- | | | | |
|--|-------------------------|---------|----|
| | マンダラ形式のサイコドラマ | 増 野 肇 | 27 |
| | | 増 野 信 子 | |
| | 思春期を迎えたアスペルガー障害児に対する心理劇 | 高 原 朗 子 | 39 |
| | 発達臨床における心理劇の展開 | 野 並 美 雪 | 51 |
| | —対人関係様式と認知様式の統合的变化— | 小 原 敏 郎 | |
| | | 武 藤 安 子 | |

調査報告

- | | | | |
|--|-------------------|---------|----|
| | 心理劇諸活動の現状に関する調査報告 | 日本心理劇学会 | 65 |
|--|-------------------|---------|----|

書 評

- | | | | |
|--|---------------|---------|----|
| | 「エッセンシャル モレノ」 | 川 幡 政 道 | 71 |
|--|---------------|---------|----|

情 報

- | | | | |
|--|---------------------|---------|----|
| | 第14回国際集団精神療法学会に参加して | 小笠原 美 江 | 77 |
|--|---------------------|---------|----|

- | | | | |
|--|-----|--|----|
| | 会 報 | | 79 |
|--|-----|--|----|

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

Vol. 5 No. 1/December 2000

CONTENTS

Remarks Special Articles : How to Warming-up and Closing in Psychodrama

- How to Warming-up and Closing in Role-playing Masamichi KAWAHATA ... 1
Psychodramas in People's Daily Life Yoshiko KURODA ... 9
From the Morenian Point of View Yujiro ISODA ... 15
The Variations of Procedure on Therapeutic Practices..... Takashi FURUKAWA ... 20

Articles

- A Constructive Psychodrama : "Mandala" Hajime MASHINO ... 27
Nobuko MASHINO
Psychodrama for an Adolescent with Asperger's Disorder Akiko TAKAHARA ... 39
The Application of Psychodrama in Child Developmental Therapy
—Integrated Changes in Modes of Interpersonal Relations and Cognition—
.....Miyuki NONAMI ... 51
Toshio OHARA
Yasuko MUTO

Investigations & QuestionnairesJapan Psychodrama Association ... 65

Book Review 71

Information 77

Annoucement 79

Edited and Published by

JAPAN PSYCHODRAMA ASSOCIATION

(c/o The Institute for the Science of Relationship, 13-9-501 Sakuragaoka-cho, Sibuya-ku, Tokyo,
150-0031, JAPAN)

President : Hajime MASHINO (Japan Women's Univ.)

Editor : Yasuko MUTO (Yokohama National Univ.)

Editorial Committee : Hiroko IBARAGI (Komazawa Univ.)

Masamichi KAWAHATA (Yokohama City Univ.); Munetsugu TODO (Yamazaki Mental Hospital)

Hajime MASHINO (Japan Women's Univ.); Susumu HARIZUKA (Kyusyu Univ.)

執筆要項

1. 論文の内容は未公開のものに限る。事例提示の場合には、そのプライバシーに関し著者が責任をもって十分配慮すること。
2. 論文の長さは、原則として原著は表と図、写真を含めてB5判(20×20字)用紙40枚まで、資料は30枚までとし、それを超える場合は実費を投稿者の負担とする。
3. 原稿は横書きで、原則として常用漢字・現代かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。表と図、写真は必要最小限にして別紙に書き、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 投稿論文の冒頭には、本文とは別に表題、著者名、所属機関名並びにその英訳を記す。また、英文アブストラクト(200語以内)およびその日本語訳を必要とし、英語で5項目以内のキー・ワードをつけること。英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
5. 外国人名、地名に原語を用いる以外には、記述中の外国語になるべく訳語をつけること。
6. 引用文献には本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載し、本文中では、著者名(発行年)で引用すること。
 - a) 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、公刊年度(西暦)、論題、誌名、巻(ゴチック)、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度(西暦)、書名、発行所とする。ただし、編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者名を筆頭にあげ、以下発行年度、編者名、書名、発行所の順とする。
 - b) 同一著者で2種以上の文献がある場合には発行年度順とし、さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1990 a, 1990 bのように区別して記載すること。
7. 校正は、初校を著者、再校以降は編集部で行う。
8. 原著、資料論文については、執筆者に別刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
9. 本誌に掲載された論文の原稿は、原則として返還しない。
10. 投稿に際しては、投稿原稿とは別にコピーを2部必ず添えて、書留便として送付すること。

編集委員

委員長：武藤 安子

委員：茨木 博子 川幡 政道 藤堂 宗継 針塚 進 増野 肇

Douglas E. Forster (英文校閲)

編集規定

1. 本誌は日本心理劇学会の機関誌として年1巻発行する。
2. 本誌は、原則として本学会会員の心理劇に関する論文の発表にあてる。
ただし、非会員からの投稿論文で本学会に寄与するものは、掲載が認められることもある。
3. 本誌には、特集、原著、資料のほか、書評、会報などの欄をもうける。
4. 特集、書評欄は、原則として編集委員会の指定した依頼原稿によって構成する。
5. 原著論文は、未公刊の心理劇とその関連分野に関する理論的ならびに臨床的研究論文とする。
6. 資料は、未公刊の事例・調査・実践等を報告する論文とする。
7. 投稿論文は、編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。
なお、編集委員会は、会員もしくは会員外に審査協力を依頼することがある。審査協力者の氏名は、「編集協力委員」として公示する。
8. 本誌の編集は、編集委員会の責任のもとに行われる。
9. 原稿の印刷に特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文を無断で複製および転載することを禁ずる。

心 理 劇 第5巻 第1号

2000(平成12)年12月1日発行

編 集 日本心理劇学会編集委員会

発 行 日本心理劇学会

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町13-9-501
関係学研究所気付
FAX 03-3770-4850

製 作 株式会社樹村房

〒112-0002 東京都文京区小石川5-6-20
